

# Face

くわしま だいすけ  
桑島 大介さん(37歳)

六原町の内在住

高齢者施設で理学療法士として務めながら、六原でボディメカアドバイスルームを開業。趣味はバスケットボール。プレーのほか母校黒沢尻北高校のトレーナーとしても活躍。

ボディメカアドバイスルーム  
「Blue Light」  
場所 六原地区農業振興会館  
1階(六原二の町表 215-1)  
☆月 2 回土曜日午後12時～15時開設☆

## 地域でできる新たな健康増進 身体を管理する手助けをしたい



レッドコードを手に笑顔浮かべる大介さん

「六原「産直ろくちゃん」隣の六原地区農業振興会館でボディメカアドバイスルームを開業する大介さん。「自分の身体を管理できる手助けをできれば」と地域の人たちの健康増進のために活躍する。

普段は奥州市の高齢者施設で理学療法士として働く大介さんは、六原地区農業振興組合青年部の活動に関わっていて、同組合長から「健康増進の活動に取り組みたい」という話をきっかけに、青年部の活動としてボディメカアドバイスルームをスタート。運動器系疾患などに対する治療やエクササイズに用いられるレッドコードという機器を使い、肩こり・腰痛の軽減や簡単なトレーニング、介護予防などの役割を果たしている。レッドコードは医療機関等では使用されているが、身近では使う機会がほとんどないため「地域でできる新しい健康増進活動に気軽に取り組んでもらいたい」と呼び掛ける。

地域活動に積極的に取り組む大介さんは、六原鬼剣舞や消防団など幅広く活動しており「近代化が進む中自分が過ぎてきた昔ながらの良さを持つ地域を仲間とともに維持していきたい」と地域への熱い思いを語る。

地域活動のほかにも昨年開催された国体の競技トレーナーを担うなど多岐にわたり活動を行っており「自分ができることを誰かのために少しでも活かしていきたい」と笑顔をのぞかせた。

## 広報日記



▽今月号の表紙は5月号広報日記で予告!?のとおり母校永岡幼稚園に行き撮影してきました。旬なアスパラ収穫に喜ぶ園児の脇で段差につまづく私…。先日カメラ研修を受けた際に写真を撮るときは両目を開けてと教わりました。理由は周りに気を配りながら撮影するためにだそうです。まさに片目で園児だけを追いかけていたのが理由だと判明。またひとつ勉強になりました。

▽さて、表紙の母校シリーズも今回で3回目となりました。次はいつたいどこの母校が待っているのか?!

(阿部)

### 金ヶ崎町の 花鳥木



町の花  
「さつき」



町の鳥  
「やまどり」



町の木  
「すぎ」